

# まなぶ つながる

第 四 次

長岡市生涯学習推進計画

あなたのまなびを、まちの力に



## 目次

### 【基本構想】

■策定の趣旨	1
■計画の位置づけ	1
■計画の期間	2
■計画の構成	2
■計画の目標	3
■目標に向けた3つの柱	4
■施策の体系図	6

### 【基本計画】

■施策の柱1：市民のパワーを引き出す（まなびの市民協働）	
・自由な発意を活かしたまなびの場の創出	8
・まなんだことを地域に活かす人材の育成と活用	10
・地域におけるまなびの活動の充実	12
■施策の柱2：生涯学習の垣根を取り払う（まなびの横の連携）	
・健康づくり分野との連携	14
・まちづくり分野との連携	16
■施策の柱3：ライフステージに応じた、まなびの機会を提供	
・若者が活躍できるまなびの場の創出	18
・子育て世代を応援するまなびの場の充実	20
・仕事の現役世代に向けたまなびの支援	22
・セカンドライフを応援するまなびの場の充実	23
・世代を問わない、身近なまなびの場の充実	24
■生涯学習推進会議委員名簿	26

# 【基本構想】

## 策定の趣旨

長岡市は、“いつでも、どこでも、だれでも”まなべる生涯学習社会の実現を目指して、生涯学習推進の方向性を示した長岡市生涯学習推進計画を平成4年3月に策定し、関連施策を総合的に実施してきました。このほど、平成23年3月策定の第三次長岡市生涯学習推進計画が、平成27年度で5年の計画期間を終了します。

この間、市民の交流拠点「アオーレ長岡」や、市民の学びと交流拠点「まちなかキャンパス長岡」のオープンなどにより、市民の自発的な発意かつ創意工夫による多彩なイベントやまなびの場が数多く育まれました。

一方で、人口減少や超高齢社会といった中長期的課題が顕在化しているなかで、市民一人ひとりが心豊かで充実した生活を送っていくために、生涯学習が果たす役割は大きいと考えます。

こうしたことから、これまでの推進の方向性を見直し、社会情勢や時流を捉えた新たな生涯学習推進のビジョンを策定するものです。

## 計画の位置づけ

本計画は、本市のまちづくりの基本構想となる「長岡市総合計画」と連動し、生涯学習の理想の姿を描き、またそれを実現するために、どのような方針で臨み、行動するかを示したものです。

## 計画の期間

計画の期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間とします。

## 計画の構成

生涯学習とは、生涯を通して、さまざまな場や機会で行うあらゆるまなびを総称するものです。

たとえば学校、家庭、地域社会、職場内などでのまなびや、趣味の活動、芸術文化活動、スポーツ活動などが挙げられますが、市民の日常生活の現場から湧き上がってくる知りたい、やってみたいといった意欲に基づいた行動そのものが、まさに生涯学習の原点といえます。

このことから、これまでの計画では、全ての年代層に応じて、多岐にわたる分野の計画と施策を掲載していましたが、人口減少、超高齢社会、地域コミュニティの希薄化など、近年顕在化している課題に対して実効性が高まるよう、目標に向けた施策の柱に関連する取り組みにポイントを絞って掲載します。

なお、本計画に掲載されていない取り組みについては、各分野において個別に策定された計画等に基づいて実施していきます。



▲まちキャン市民プロデュース講座「ミドル・シニア世代の科学教室」

## 計画の目標

本市における生涯学習推進の目指すべき姿として、3つの目標を定めます。

### (1) 自らすすんで、まなびの活動に取り組むまち

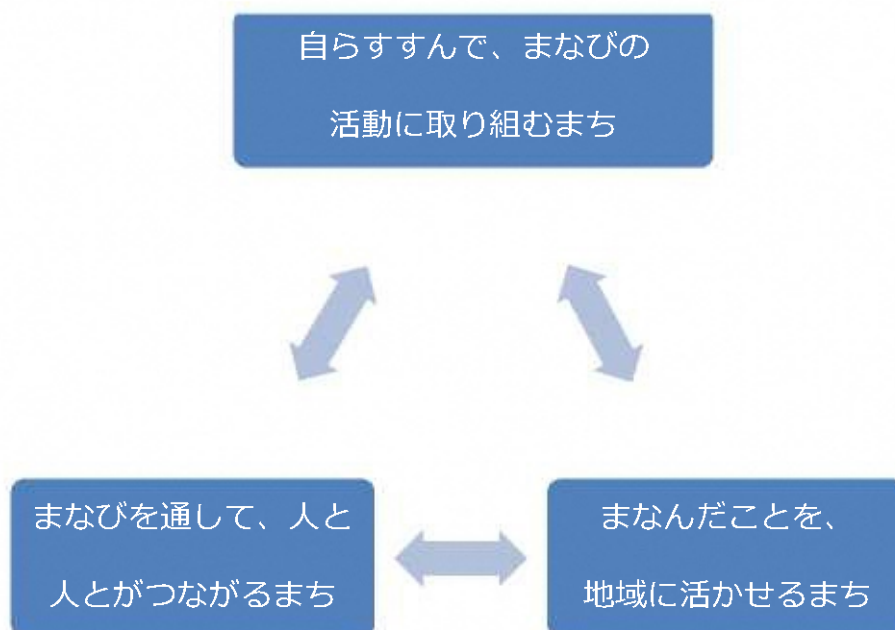
生涯学習は、「いつでも」「好きなことを」「自らすすんで」行うことが大切です。市民一人ひとりが心豊かで充実した生活を送るために、まなびの意欲を喚起し、誰でも自主的に楽しく活動を進めることができるまちを目指します。

### (2) まなびを通して、人と人がつながるまち

人口減少や超高齢社会が進行するなか、人と人とのつながりが希薄化し、社会からの孤立や孤独化が懸念されています。まなびを通して世代を問わず交流し、人と人とのつながりが広がるまちを目指します。

### (3) まなんだことを、地域に活かせるまち

まなんだ知識や経験を自分ひとりにとどめるのではなく、地域やまちづくりに活かすことは、市民力の向上や活力ある社会の実現に直結します。また、まなぶ人の自信や誇り、新たなまなびへの意欲にもつながります。誰もがまなんだ成果をフィードバックしたくなるようなまちを目指します。



## 目標に向けた3つの柱

目標に向けた方針として3つの柱を掲げ、その下で施策を展開します。

- (1) 市民のパワーを引き出す（まなびの市民協働）
- (2) 生涯学習の垣根を取り払う（まなびの横の連携）
- (3) ライフステージに応じた、まなびの機会を提供

### (1) 市民のパワーを引き出す（まなびの市民協働）

市民パワーの強みは、何といたっても自由な発想ができることです。一方で行政の強みは、さまざまな角度への目配りや調整の能力です。お互いの強みを生かし、相乗効果を生み出すことが大切です。市民の生活の現場から湧き上がってくる「知りたい」「教えたい」という想いをカタチにするため、市はそれをバックアップします。

このような役割分担＝協働※と、まなびの意欲にあふれる人材の育成と活用を通して、これまでの生涯学習や社会教育の枠を超えた、多彩なまなびを実現します。

※協働：市民と市とが互いを認め合い、それぞれの想いに共感し、必要に応じて相互に補い合いながら、お互いに持ち味を十分に発揮することにより、まちづくりに取り組むこと。

### (2) 生涯学習の垣根を取り払う（まなびの横の連携）

生涯学習の施策には、市のさまざまな部局で実施している施策と目的が同じ、または親和性が高いものがあります。これらを有機的に連携させ、相乗効果を生み出すよう図ります。

一例として、健康づくり施策との親和性が挙げられます。今後、人口減少と超高齢化が進行し、高齢者の孤立化、無縁化が深刻になると予想されています。そのようななかでも、生涯学習講座やサークル活動への参加、文化ホールでの舞台鑑賞など、まなびの活動を続けていれば、地域や仲間とつながり、出かける場を得ることができます。すなわち生涯学習は、孤立化や無縁化を防ぎ、心

身ともに健康でくらすための手段のひとつでもあると考えられます。

### (3) ライフステージに応じた、まなびの機会を提供

青年期や子育て期、仕事の現役期や退職後といった人生の各ライフステージで、まなびのニーズはそれぞれ異なります。これらに応えられるように、また特定の分野に偏ることなくバランスのとれたまなびの機会を提供できるよう取り組んでいきます。

なお、計画全体に係る重点ポイントとして、以下の柱を掲げます。

#### ■情報発信力、PR力の強化

情報発信やPRは、市民に理解してもらい、共感を得て、信頼関係を築くための最重要手段であるといっても過言ではありません。計画の全体にわたって、以下のような心構えで、情報発信力、PR力の強化に努めます。

- ・施策や事業の意図や目的がどうしたら伝わるか、その効果的な方法や手段を常に考えます。
- ・顧客目線を持って、施策や事業の付加価値向上を目指します。
- ・紙やインターネット、報道機関など、あらゆる媒体を活用します。
- ・貪欲に、あらゆる機会をとらえ情報発信の機会をつくっていきます。



▲生涯学習推進大学 館外学習

## 施策の体系図

### 【目標】

- 自らすすんで、まなびの活動に取り組むまち
- まなびを通して、人と人がつながるまち
- まなんだことを、地域に活かせるまち

【施策の柱】	【主要施策】	【担当課】
市民のパワーを引き出す (まなびの市民協働)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 自由な発意を活かしたまなびの場の創出</li> <li>(2) まなんだことを地域に活かす人材の育成と活用</li> <li>(3) 地域におけるまなびの活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習文化課、まちなかキャンパス長岡、市民協働課</li> <li>まちなかキャンパス長岡、中央公民館、長寿はつらつ課</li> <li>市民活動推進課、まちなかキャンパス長岡、学校教育課</li> </ul>
生涯学習の垣根を取り払う (まなびの横の連携)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 健康づくり分野との連携</li> <li>(2) まちづくり分野との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉総務課、健康課、長寿はつらつ課</li> <li>商業振興課、ながおか・若者・しごと機構推進課</li> </ul>
ライフステージに応じた、まなびの機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 若者が活躍できるまなびの場の創出</li> <li>(2) 子育て世代を応援するまなびの場の充実</li> <li>(3) 仕事の現役世代に向けたまなびの支援</li> <li>(4) セカンドライフを応援するまなびの場の充実</li> <li>(5) 世代を問わない、身近なまなびの場の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなかキャンパス長岡、ながおか・若者・しごと機構推進課</li> <li>子ども家庭課、男女共同参画推進室</li> <li>中央公民館</li> <li>中央公民館、長寿はつらつ課、子ども家庭課</li> <li>まちなかキャンパス長岡、科学博物館、中央図書館、スポーツ振興課</li> </ul>



## 【基本計画】

## 施策の柱1：市民のパワーを引き出す（まなびの市民協働）

### 主要施策 1-(1)

## 自由な発意を活かしたまなびの場の創出

まなびを通じた自己実現への意欲が、市民の間でいま、急速に伸びています。市民のまなびのニーズに応えるためには、自由で自発的な発意を引き出し、行政がそれを実現できるようサポートする市民と行政の二人三脚＝市民協働による取り組みが重要と考えます。市民の知恵と行動力を活かした、多彩なまなびの場づくりを進めます。

### 生涯学習文化課・まちなかキャンパス長岡

市民や企業などの知識や技術を活かした多彩なまなびの場を創出します。“教えたい”という想いをサポートし、市民協働の取り組みをさらに充実します。

#### 【取組の例】

- ・生涯学習人材バンク「まちの先生」※
- ・市民プロデュース講座※
- ・企業・団体プロデュース寄附講座
- ・まちキャンボランティア企画講座



▲講義に聞き入る受講生（企業プロデュース講座）

※生涯学習人材バンク「まちの先生」

自分の知識や経験を教えたい、役立てたい方を募集し、紹介する制度。歴史、文化、芸術、音楽、スポーツなど、幅広い分野の先生が登録。

※市民プロデュース講座

「自分がまなんだことを伝えたい」「夢中になっている活動を広めたい」「自分が企画して、あの人を講師に招きたい」など、講座にチャレンジしたい市民をまちなかキャンパス長岡が協力して開催する講座。



▲アカペラ体験講座（市民プロデュース講座）



▲ながおか市民協働センター相談窓口

### 市民協働課

まなびの活動をはじめとする、市民や市民団体から寄せられるさまざまな相談、提案、情報の窓口となって、人と人、人と地域を結ぶ手助けをします。

#### 【取組の例】

- ・ながおか市民協働センターのコーディネート事業

## 施策の柱1：市民のパワーを引き出す（まなびの市民協働）

### 主要施策 1-(2)

## まなんだことを地域に活かす人材の育成と活用

まなんだ知識や経験を「だれかに伝えたい」「だれかと共有したい」という人材を発掘し育てていくことは、まなびの裾野を広げ、活力ある地域づくりにつながります。また、まなんだ人がまなぶ人を育てる、循環型の人材育成にもつながります。まなんだ成果を自分だけにとどめず、地域や人に波及してくれるような人づくり・場づくりを進めます。

### まちなかキャンパス長岡

まなんだことを地域や社会に還元する人材の育成を目指します。まなびで得た知識や技術などを活かして、地域課題の解決策を提案するとともに、その活動の場を設けます。

#### 【取組の例】

- ・まちづくり市民研究所※



▲提案に向け議論を深める（まちづくり市民研究所）

※まちづくり市民研究所

まなびの成果や経験を実践に活かす市民協働プロジェクト。研究期間は1年間で、身近な地域課題についてリサーチ・分析し、その解決策を提案。

### 中央公民館

地域のコミュニティセンターなどで生涯学習事業を企画運営してくれるリーダーを育成することにより、地域の実情とニーズに応じたまなびの場の充実につなげます。

#### 【取組の例】

- ・生涯学習推進大学



▲生涯学習推進大学

### 長寿はつらつ課

地域の中で、運動機能向上、認知症予防などの介護予防活動に主体的に取り組むことのできる人材育成、人材活用を進めます。

#### 【取組の例】

- ・介護予防サポーター養成支援事業



▲介護予防の知識を身に付けた市民サポーター「転ばん隊」の研修

## 施策の柱1：市民のパワーを引き出す（まなびの市民協働）

### 主要施策 1-(3)

## 地域におけるまなびの活動の充実

各地域で行われている歴史や伝統などに根差したさまざまな活動は、地域におけるまなびの活動の原点であるといえます。それぞれで育まれてきた「ひと」「モノ」「情報」などの資源を活かしたまなびの活動が充実することは、地域の魅力アップや郷土愛にもつながります。各地域において、それぞれのニーズや特色を活かした活動が展開されるよう支援します。

### 市民活動推進課

各地域における地域づくりへの参画促進と、各種講座やサークル活動などのまなびの活動を積極的に支援するために、コミュニティセンター職員への研修や情報提供等を行います。

#### 【取組の例】

- ・ コミセン職員研修の実施
- ・ いきいきコミュニティ事業補助金（コミュニティ活動への支援）の交付



▲上川西生涯学習教室（通称ニコニコ大学 上川西コミュニティセンター）

## まちなかキャンパス長岡

まなびの事業をまちなかにとどまらず各地域に広げ、各地域の特色やニーズを反映した、地域独自のまなびの場の実現を目指します。

### 【取組の例】

- ・まちなかキャンパス長岡分校の地域展開
- ・出張講座の開催



▲まちなかキャンパス長岡栃尾分校の開校式（平成 27 年 11 月）



▲柿川探検（ようこそ「まちの先生」）

## 学校教育課

学校教育の視点から、まなびの成果を地域に活かせる機会や環境をつくります。

### 【取組の例】

- ・ようこそ「まちの先生」事業※

※ようこそ「まちの先生」事業

地域の人材や生涯学習人材バンク「まちの先生」を学校に招へいし、総合的な学習の時間やクラブ活動などに参画してもらうことで、地域の力、市民の力を学校教育に活かす取り組み。

## 施策の柱2：生涯学習の垣根を取り払う（まなびの横の連携）

### 主要施策 2-(1)

## 健康づくり分野との連携

公民館講座やサークル活動への参加などのまなびの活動を続けていると、日常のなかで出かける場所を得ることができます。同時に、適度に頭や体を使うことにもなります。その結果、人や地域とのつながりを保つことで、社会からの孤立や無縁化を防ぐとともに、介護予防や認知症予防、健康寿命が延びるための有効な手段にもなります。まなびの活動が、心身ともに健康に暮らせることにつながる取り組みを進めます。

### 福祉総務課、健康課、長寿はつらつ課

「多世代健康まちづくり事業」※などと連動し、健康づくりを実践できるまなびの環境や活動を提供し、全市に展開します。

#### 【取組の例】

- ・健康づくりセミナーの全市展開
- ・健康づくり拠点タニタカフェでの健康ミニセミナー
- ・「ながおかタニタ健康くらぶ」を通じた継続的なまなびの活動
- ・生活習慣病予防健康講座、重症化予防事業



▲タニタカフェ健康ミニセミナー

#### ※多世代健康まちづくり事業

高齢化の進行に伴う介護や生活習慣病の予防が課題となるなか、ながおか市民センター内にオープンした「タニタカフェ」を健康づくりの拠点として、楽しみながら継続して健康づくりに取り組むことで、将来的な健康寿命の延伸を目指す取り組み。





▲「ながおかタニタ健康くらぶ」セミナー

### 長寿はつらつ課

高齢者の社会参加促進および介護予防活動継続のための、地域住民による“通いの場づくり”を進めます。

#### 【取組の例】

- ・はつらつ広場※支援事業
- ・介護予防サークル活動支援事業



▲はつらつ広場

※はつらつ広場

高齢者の地域への社会参加と生きがいづくりを支援する取り組み。運営は住民団体で、公民館などを会場に、茶話会や運動のほか、住民を講師にした趣味の講座や町内行事への参加など、地域の実情にあった企画を団体独自の工夫で実施。

## 施策の柱2：生涯学習の垣根を取り払う（まなびの横の連携）

### 主要施策 2-(2)

## まちづくり分野との連携

これまでの生涯学習事業は、市民一人ひとりがそれぞれで取り組む「個のまなび」が中心でした。これからは、「個のまなび」はもとより、まなびを通じて人と人との交流やコミュニティが生まれ、活力あるまちづくりにつながるような取り組みを進めます。

### 商業振興課

既存の商店街と市民が協働で、商店街活性化とまなびの融合を進め、相互理解を深めることで、地域の活性化を図ります。

#### 【取組の例】

- ・長岡まちゼミ※



▲長岡まちゼミ「はじめてのアロマテラピー」

※長岡まちゼミ

商店街のお店が講師となって、プロならではの専門的な知識や情報、コツを無料で教える少人数制のミニ講座。

## ながおか・若者・しごと機構推進課

若者自らが魅力を生み出すまちを実現するため、若者の暮らしやまなび方に関する新たな可能性を引き出し、まちづくりへの参画を促します。

### 【取組の例】

- ・若者がまなぶ環境などの調査研究
- ・ながおか若者会議などを通じたアイデアの実現サポート



▲30代までの若者がまちづくりを提案する場「ながおか若者会議」

## 施策の柱3：ライフステージに応じた、まなびの機会を提供

### 主要施策 3-(1)

## 若者が活躍できるまなびの場の創出

これからのまちづくりには、将来を担い、ふるさとに愛着と誇りをもつ若者が、まちの魅力を生み出していくことが大切です。長岡に息づく「米百俵の精神」のもと、若者の志や可能性を引き出し、活躍をバックアップする仕組みづくりや、若者が地元に着し、自らの意欲や発意がまちづくりに活かされるような取り組みを進めます。

### まちなかキャンパス長岡

まなびの事業において、学生が主体となって活動できる場づくりや支援を行います。

#### 【取組の例】

- ・学生交流イベント分科会の活動



▲七夕に向けてモビールづくり（学生交流イベント）

### ながおか・若者・しごと機構推進課（再掲）

若者自らが魅力を生み出すまちを実現するため、若者の暮らしやまなび方に関する新たな可能性を引き出し、まちづくりへの参画を促します。

#### 【取組の例】

- ・若者がまなぶ環境などの調査研究
- ・ながおか若者会議などを通じたアイデアの実現サポート



▲30代までの若者がまちづくりを提案する場「ながおか若者会議」

## 施策の柱3：ライフステージに応じた、まなびの機会を提供

### 主要施策 3-(2)

## 子育て世代を応援するまなびの場の充実

人口減少社会を迎えた現在、未来の長岡を担う子どもたちを育むためにも、長岡で安心して子どもを産むことができ、健やかに育てたいと思う人が増えるよう、子育て世代のニーズに寄り添ったまなびや交流の機会の充実を図ります。また、子育てと仕事との調和のとれた生活の実現のため、男女がともに働き、ともに育てる風土づくりを進めます。

### 子ども家庭課

子育てに関したまなびの機会を充実させ、子育て支援体制、子育て世代の交流のさらなる充実を図ります。

#### 【取組の例】

長岡版「ネウボラ」※の展開

- ・子育ての駅の全市展開
- ・ままのまカフェ※の開催



▲産後ケアコーディネーターがお母さんに寄り添います

※長岡版「ネウボラ」

「ネウボラ」とは、男女共同参画の先進国で女性のほとんどが働くフィンランドで実施されている妊娠・出産・育児を切れ目なく支援する制度のこと。保健師や助産師など専門職員が妊娠期から就学前にかけて切れ目なく家族を支援。市独自の子育ての駅や、子育てコンシェルジュ、子育てサポーター等と連携した取り組み。

※ままのまカフェ

地域で子育てを応援している母子保健推進員が、子どもを預かり見守る中で、親同士がお茶を飲みながら子育ての情報交換するなどしてゆったりとした時間を過ごしてもらうカフェ。



▲子育ての駅ぐんぐん

### 男女共同参画推進室

結婚、出産・子育て等を理由に離職した女性の再就職を支援するとともに、男性が家族や地域社会の一員としての役割を女性とともに担えるように意識啓発に取り組みます。

#### 【取組の例】

- ・女性のための再就職準備セミナー
- ・男性向けワーク・ライフ・バランスセミナー



▲女性のための再就職準備セミナー

## 施策の柱3：ライフステージに応じた、まなびの機会を提供

### 主要施策 3-(3)

## 仕事の現役世代に向けたまなびの支援

現役の仕事世代に向けて、その世代特有のニーズをとらえたまなびの取り組みを展開します。例えば、定年を控えた仕事の現役世代が、定年後に地域において仲間や出かける場を見つけられるよう、来るべきセカンドライフ期を見据えた地域や人とつながるきっかけづくり、すなわち「まなびの活動への助走の場」を提案します。

### 中央公民館

従来の枠にとらわれない、身近で参加しやすいテーマ、題材を取り上げたまなびの機会を提案し、これまで仕事中心の生活などで、まなびの時間の確保が難しかった世代に生涯学習への参加を促します。

#### 【取組の例】

- ・シニア世代向け講座※



▲シニア向け講座 手軽に美味しいドリップコーヒー

#### ※シニア世代向け講座

人生のセカンドステージを控えた世代に対して、身近で参加しやすいまなびの機会を通して、新たな仲間や居場所づくりにつながる講座。



## 施策の柱3：ライフステージに応じた、まなびの機会を提供

### 主要施策 3-(4)

## セカンドライフを応援するまなびの場の充実

超高齢社会のなか、第二の人生をいかに健康で楽しく過ごすかが大事になっています。心身ともに健康なシニア世代、高齢者が増えるよう、生活に密着したまなびの機会を充実します。

### 中央公民館

趣味など日常生活に密着したまなびの活動を通じて、高齢者が人や地域とつながる機会を提供します。

#### 【取組の例】

- ・シニア世代向け講座、趣味の教室

### 長寿はつらつ課

高齢者が、加齢とともに衰える機能を鍛える介護予防をまなぶことのできる機会の充実を図ります。

#### 【取組の例】

- ・介護予防講座



▲趣味の教室（焼物講座）

### 子ども家庭課

高齢者向けに、子育てに関する「まなび直し」の機会を設けて、子育て活動への積極的な参加を促します。子育て支援活動を通じた社会参加で、生きがい感の醸成や地域とのつながりを生み出します。

#### 【取組の例】

- ・子育てをサポートする人材の参画促進と人材の増加

## 施策の柱3：ライフステージに応じた、まなびの機会を提供

### 主要施策 3-(5)

## 世代を問わない、身近なまなびの場の充実

適度な運動や読書、今まで知らなかったことへのちょっとした興味など、日常に密着したまなびの行動は、心豊かで充実した暮らしへのきっかけになります。そのようなまなびの意欲を後押しできるよう、世代を問わず、いつでも誰でも気軽に参加できる、身近なまなびの場づくりを進めます。

### まちなかキャンパス長岡

老若男女、それぞれのライフステージに応じたまなびの場を、誰もが集まりやすいまちなかで提供します。

#### 【取組の例】

- ・まちなかカフェ、まちなか大学※



▲大河ドラマの見どころを先取り（まちなかカフェ）

※まちなかカフェ、まちなか大学

まちなかカフェは、おいしいお茶を飲みながら、気軽に受講できる単発講座。サイエンス、芸術、歴史など、さまざまなジャンルの講座が多数。まちなか大学は長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校がプロデュースする連続講座。

### 科学博物館

長岡の豊かな自然・歴史・文化に触れる機会を提供します。

#### 【取組の例】

- ・特別展・企画展の開催
- ・展示解説・講座・野外観察会・講演会の実施
- ・各種資料の調査研究・整理保管に関する相談対応

## 中央図書館

図書の貸し出しにとどまらず、各種講座や美術展、ワークショップなど、あらゆる世代の、さまざまなまなびの意欲を刺激する取り組みを進めます。

### 【取組の例】

- ・ 展覧会や造形講座、ワークショップ
- ・ 古文書解読講座
- ・ 各図書館の工作教室
- ・ 文化講座、映画会



▲型染めでオリジナルランチバッグづくり  
(栃尾美術館)

## スポーツ振興課

生涯スポーツ活動の充実と、競技スポーツの振興とスポーツ推進体制の充実を図ります。

### 【取組の例】

- ・ コミュニティスポーツクラブ※の支援
- ・ スポーツ指導者の養成



▲コミュニティスポーツクラブの活動

※コミュニティスポーツクラブ

地域住民が自主的に行う、地域のだれもが定期的かつ継続的に参加できるスポーツ・レクリエーションなどの活動を行う組織。

### 生涯学習推進会議委員名簿（任期：H26.4.1～H28.3.31）

No	氏名	推薦区分・団体名
1	小林 昇	中之島地域
2	安藤 正芳	越路地域
3	北原 朋子	三島地域
4	関 静子	山古志地域
5	阿部 正之	小国地域
6	小田 明子	和島地域
7	宮川 精治	寺泊地域
8	北郷 昌明	栃尾地域
9	和田 孝子	与板地域
10	川上 哲司	川口地域
11	佐竹 直子	NPO多世代交流館 にな二ーナ
12	加藤 仁	長岡市子ども会連絡協議会
13	渡辺 淳	長岡市三島郡小・中・総合支援学校校長会連絡協議会
14	河田 恵美子 (副議長)	まちなかキャンパス長岡運営協議会
15	丸山 誠	長岡市スポーツ推進委員連盟
16	丸山 幸夫	公益財団法人長岡市芸術文化振興財団
17	和田 行夫	長岡市国際交流協会
18	宇佐美 信久	長岡市社会福祉協議会
19	笠井 博	長岡市コミュニティセンター運営研究会
20	金子 修	長岡市老人クラブ連合会
21	加藤 戸代一 (議長)	学識経験者（前社会教育委員兼公民館運営審議会委員）
22	吉田 絵里子	学識経験者（前社会教育委員兼公民館運営審議会委員）
23	田中 康夫	公募
24	川口 友子	公募

第四次長岡市生涯学習推進計画

平成28年3月

編集 長岡市市民部生涯学習文化課

発行 長岡市

〒940-0084 長岡市幸町2-1-1

電話 (0258)32-5110 (直通)